

このとおり、学校評価について報告いたします。

高松市立牟礼中学校 校長 溝 渕 隆 弘

	評価項目	評価 4段階	自己評価結果と改善方策等	学校関係者評価結果および意見等
1	確かな学力の育成に関すること (学力向上、キャリア教育、英語教育、情報教育等)	3.9	GIGA端末活用の促進やペア・グループ活動で生徒の活動を重視し、学力向上を図った。個に応じた指導を充実させるT・Tの実施、マイ・スタディとしてサポートの必要な生徒への補充を行った。	・ブログをよく見ているが、学校の様子がとてもよく分かり、保護者からの評判も良い。
2	豊かな心を育てる教育の推進に関すること (道徳教育、小中一貫・連携教育、ふるさと教育、読書活動、体験活動等)	3.9	スマイルあいさつ運動として、PTAとの連携の工夫を行った。合唱コンクールは学年団ごとに行い、オンラインを用いて教室で観覧するなど、感染症対策をしながら生徒の活躍の場の確保に努めた。	・コロナで行事が少なくなっているの で、校内での様子を発信してくれ、 ありがたい。子どももよく見ている。
3	生徒指導の充実に関すること (いじめ、不登校対策等)	3.7	生徒指導委員会や不登校対策委員会での情報共有が図れた。年3回の教育相談週間を有効に活用し、生徒の心のケアを図る等、温かい人間関係を基盤とした生徒指導に努めた。相談室での支援と円滑な運営に配慮した。	・ブログについては、子供達の意見が よく反映されており、よいと思う。 ・将来の夢を育てるためには、目標の 立て方などの道筋を教えることは大切 であると考えている。学校としてその ような活動をしてくれるのはありがた い。
4	運動に親しむ習慣づくりと体力の向上に関すること (体力・運動能力の育成)	3.7	体力・技能の向上、忍耐力の育成のため部活動への積極的な参加を促し、部活動メッセージをビデオ録画で放映し、生徒の発表の機会を確保し、運動への意欲付けを行った。昨年度は中止した体育祭を、学年ごとではあるが実施し、生徒の運動への関心を高めた。	・コロナの影響で、それ以前と比べ 様々な場面で急激な変化があると思 う。特に、上下のつながりが希薄にな っていないか心配であったが、部活動 等でつながりが持っているようでよか った。
5	食育の推進と心身の健康づくりに関すること	3.6	望ましい食習慣の形成のためのマイ・ランチを実施し、給食委員が写真やイラストを校内に掲示した。栄養教諭を招聘し、技術・家庭の授業で指導を行った。調理実習を行い食への関心を高めるように努めた。朝食をとるなどの基本的な生活習慣はしっかり身につけている。	・コロナの影響で学力が落ちていると 報道等でよく聞くので、心配していた が、説明の中でそこまで落ちていな いことを聞き安心した。
6	学校人権教育の推進に関すること	3.9	「ほっとトーク」や「クラス会議」で自分の気持ちを伝え、他人の意見を肯定的に捉える力を育成した。教材開発から工夫した人権教育、オンラインではあるが生徒主体の活動を重視した人権集会を通して、人権感覚の育成を図った。	・部活動の時間で学ぶことは多いと思 う。今は、県・市の施策で完全に中止 していると聞いて心配している。
7	特別支援教育の推進に関すること	3.6	ユニバーサルデザインの教室づくりや授業の実践、特別な支援を必要とする生徒の理解を深めるとともに適宜ケース会を行い、支援策を協議した。若年研修でも具体的な支援方法についての改善を図った。	・アンケート結果を見ると人の役に立 ちたいと思う子どもたちが増えてき ている。教員が子どもたちをよく見て くれている結果であると思う。
8	教員の資質向上と教育指導体制の充実に関すること (職員のコンプライアンス・現職教育等)	3.8	年間1回以上の全員の公開授業や、校内講師による若年研修を実施し、OJTの意識を向上させた。また、職員会議毎の綱紀保持の注意喚起を行い、職員の意識改革を図ることで、信頼の向上に努めた。	・いろいろな場面で仲間意識の構築を していくことで、将来、社会生活で役 立つ力がついていく、そういう教育を 進めていってほしい。
9	安心・安全で質の高い教育環境の整備に関すること	3.9	交通安全について、登校時の呼びかけ等、委員会活動の充実で安全教育を活性化させた。施設補修、緑化、掲示など、教育環境の整備に努めたが、施設の老朽化のために依然改善が必要である。	
10	家庭や地域との連携・協働に関すること (高松型コミュニティ・スクール等)	3.9	「親子ふれあい奉仕活動」は中止となったが、PTAと生徒会発案でコミュニティセンターに折り鶴アートを送ったり、地域の交通安全運動や植栽に協力したりして連携を深めた。職場体験学習はZOOMで実施できた。ブログによる情報発信も毎日実施しており、今後、学校便り等での周知で閲覧数を伸ばしていく。	
11	働き方改革・業務改善に関すること (時間外勤務の削減等)	3.7	勤務時間の把握はできているが、時間外勤務の削減の意識向上を促す必要がある。業務改善に向けては、行事や学習指導の目的やねらいを第一に、ICTを活用した互いの実践の共有や精選、効率化をめざしていきたい。	